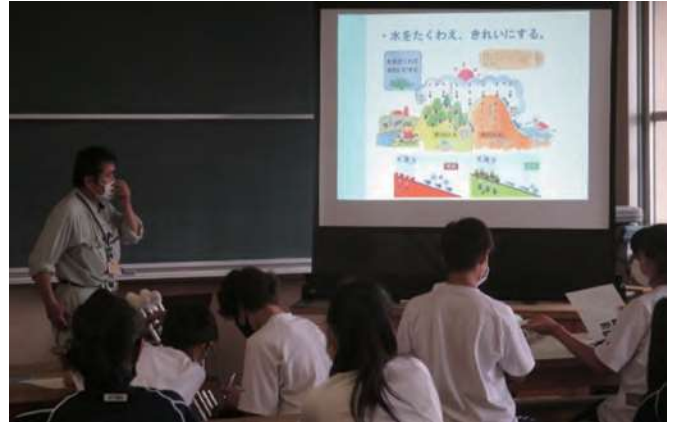


19

森の話とマイ箸作り

津市立西郊中学校



森のせんせいによる森の働きや林業の講話



小刀を使用したマイ箸作り

ねらい

- ・ 森林・林業の現状や森林の働き、大切さを知る
- ・ 二学期に美杉産の木材を使用した木工作品の製作にむけて県産材を使うことの意義を知る
- ・ 県産材を使つてのマイ箸作りを行い、木の良さを感じ、木に親しむ

取組内容

授業の前半では、森のせんせいから森や林業の話がありました。本校では二学期に美杉産のスギ集成材を使って木工作品の製作を行います。「なぜ地元津市産の材料を使うのか」その意義と、森を大切にすることが災害防止や海産物を豊かにし、持続可能な環境を作っていくためにも大切であることを教わりました。

授業の後半には、美杉産の杉でマイ箸作りを行いました。生徒の多くは小刀を初めて使用したため、最初はとまどっていたもののだんだんと慣れてきました。生徒それぞれが木材の特性を感じつつマイ箸作りを楽しみました。

| | |
|----|--------------------------------|
| 内容 | ・ 森の話 ・ マイ箸作り |
| 時間 | 50 分× 3 クラス（技術科） |
| 場所 | 金工室 |
| 対象 | 1 年生 115 人 |
| 講師 | 森のせんせい：中勢森林組合 |
| 備考 | みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業 |

【先生のコメント】 森林・林業の現状をよく理解したようでした。2限目は技術科教師だけでマイ箸作りの続きを行いました。1限目と同様、熱心に製作することができました。二学期に美杉産の木材を使った木工作品の製作を行います。それに向けて良い導入の授業となりました。